

2017年5月5日

日本の海岸線を歩く会 歩行報告書

報告者：横山泰一

1. 計画の概要

歩行名称にはブロック名（会則に記載）と概略歩行区間を記載する。

歩行名称	近畿ブロック（近畿3歩行）
計画区間詳細	スタート地点：西山慕情ヶ丘（志摩市阿児町立神） ゴール地点：田曾（南伊勢町）
実施期間	4月19日（水曜）— 21日（金曜）
概算歩行距離	約42 Km

2. メンバー表（メンバーの詳細情報は別紙に示すが、ホームページ等には載せない）

No	役割・分担	氏名	ワゲル期	備考（ワゲルとの関係等）
1	リーダー	横山泰一	13期	
2	記録	横山弥生	13期	
3		甲田征三	12期	
4		甲田みつえ		
5				

3. 歩行の概要

	月日	出発地～到着地	歩行距離	歩行参加者	備考
1	4/19	西山慕情ヶ丘～桐垣展望台	16 km	横山泰一・弥生、甲田征三・みつえ	
2	4/20	鵜方～浜島（浜島町）	19 km	同上	
3	4/21	浜島～田曾（南伊勢町）	7	同上	

4. 費用

参加費 参加者延べ日数 12 参加費合計 1,200 円
交通費 19,520 円（内訳 JR:14,860 円、近鉄:7,160 円、バス:770 円、タクシー:3,100 円）
宿泊費 17,000 円、
飲食費その他 5,000 円
合計 47,890 円

5. 1歩行ルート

西山慕情ヶ丘～宇気比神社～前回歩行した部分を通り桐垣展望台
計画書ではもう一つの展望台登茂山展望台まで余裕があれば歩くとしていたが中止した。
鵜方～大崎口～志摩地中海村 タクシー移動 大崎口～浜島
計画書では宿へ直行し、浜島港は翌日歩く計画としていたが、タクシー利用で浜島港を経由して宿へ到着した。
計画では宿浦をゴールとしていたが、少し手前の田曾バス停とした。



歩行ルート図

5-2 歩行の詳細

4月19日

11:00 近鉄鵜方駅集合

昼食の弁当を買い込んで、タクシーで西山慕情ヶ丘へ。

11:45 西山慕情ヶ丘

11:55 出発 天気は晴れ。



西山慕情ヶ丘

12:40 宇気比神社 昼食

13:05 出発 立神郵便局からバス道路を歩く。



ミツバツツジの咲く道を行く



宇氣比神社



前回の近畿2の歩行で歩いた道

やがて前回大王崎から松ヶ枝屋へ歩いた県道 602 号線へ入り、ともやま公園へ向かう。

15:40 桐垣展望台着



桐垣展望台から英虞湾の眺め

桐垣展望台からはタクシーで鶴方のビジネスホテルへ向かった。



岬の先端にある民宿と真珠養殖場



次郎六郎海水浴場と遠く前回歩いた志摩大橋の眺め



夕陽の美しさが想像できる一枚

4月20日

晴れのち曇り

8:00 鵜方のホテル出発 近くのスーパーで昼食用に食料を買い、県道17号線を英虞湾沿いに歩く。

8:55 横山下

9:15 福川原 ここから海岸線から離れる。大崎口バス停で左折し、地中海村へ。

10:25 地中海村 村内を散策

11:40 タクシーで大崎口へ戻る。

11:47 大崎口 再び県道17号線を歩く。

12:00 迫子 昼食

12:35 出発

12:40 迫子浦

桧山路大橋から17号線と別れ、海岸沿いの道を歩く。

13:30 浜島中学校



ホテル前で



英虞湾沿いの県道 17 号線を歩く



アオサの養殖場



釣果はどうか？



志摩地中海村到着

13:50 大江戸温泉物語伊勢志摩

14:18 海ほおずき 休憩

14:45 出発 国道 260 号線を歩く。

15:00 浜島海浜公園

国道 260 号線から別れ海岸沿いにビン玉ロードが整備され、古くから遠洋漁業で気仙沼と親交があったことから三陸の一刻もはやい復興を願いお祈りスポットが設けられている。漁で使用するビン玉に電球を入れ「絆の灯」を灯したり、あっぱ貝絵馬に願いを込めて太平洋に向かってお祈りする場所などがある。ここ目戸海岸は日本の夕陽 100 選に認定されている。

15:40 黒崎海岸

15:50 ホテルタ雅到着



海ほおずき



夢街道



防潮堤に描かれた魚のタイル画



浜島海浜公園



ビン玉ロード



お祈りスポット {絆の灯}



宿に到着



残念ながら夕陽は見られず。



宿から見下ろす黒崎海岸



漆黒の海を照らす灯台の灯

4月21日

曇り

9:00 ホテル出発

国道260号線を歩きはじめ、すぐに磯笛展望台へ向かう町村道へ入る。

9:26 磯笛展望台

英虞湾と太平洋が一望できる。この峠を越える人々に海女の息継ぎの音が口笛のように聞こえたことから磯笛峠と呼ばれるようになったという。眼下には小舟が浮かんでおり、よく見ると海女さんらしき人が潜

っているのが見えた。

南張（なんばり）で国道へ合流。南張海水浴場からは旧道を通る予定だったが、ががけ崩れで通行止めとなっていた。国道へ戻り、トンネルを通行した。

10:23 田曾白浜バス停 ここから旧道を歩く。

11:24 田曾バス停

ここで歩行を終了した。



早朝の海岸



お祈りスポット



出世魚ブリの稚魚の鐘をならして出世・幸運を願う



磯笛岬から御座を眺める



海女の小舟



国道 260 号線旧道を歩く



田曾の食堂を覗く



田曾の浜

感想

リアス式海岸は切り立った断崖が海岸に迫り、海岸線に道がない所が多い。今回歩行した英虞湾はその典型で、岬へ出る道からは海は見えず、岬から隣の岬へは同じ道に戻らなければならない。効率的に歩くため今回はタクシーを利用することで、観光（横山展望台、英虞湾遊覧船観光）もできた。今後もタクシー利用を考えたい。

今回は三重県にある日本の夕陽 100 選に選ばれた 4 か所（慕情ヶ丘、桐垣展望台、浜島（目戸）海岸とタクシーでの通過となった賢島大橋）全てを回れたのは良かった。今度は夕陽を眺めに滞在したい。

以上